

令和元年度
宇陀市まちづくり活動応援補助金
成果報告書



宇陀市企画財政部 まちづくり支援課

令和2年8月

目 次

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要	1
補助金の額	1
審査・評価の方法	1
審査委員	1

各事業の成果 ※以下事業名()内は実施団体名

(1)うだ子ども能楽教室	2
(うだ子ども能楽教室)	
(2)芳野城を中核にした地域活性化事業	3
(芳野城を守る会)	
(3)室生原山にぎわいの拠点づくり事業	4
(三郎岳景観石仏群保存会)	
(4)空き家改修の民家を利用した市民による市民の為の市民文化講座	5
(にっこり会)	
(5)宇陀再発見ツアー	6
(宇陀市の神話と歴史を考える会)	
(6)㊦一魂心会による室生活活性化計画！室生寺もみじ祭りに於ける 『お客様に対するおもてなし』	7
(㊦一魂心会)	8
(7)～町おこしは人おこし～魅力発見 ♪うたの手づくりフェスタ♪	
(うたの夢街道実行委員会)	
(8)宇陀スカイランタンフェスティバル	9
(宇陀スカイランタンプロジェクト)	

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関(宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会)による厳正な審査を経て決定します。

補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

審査・評価の方法

①一次審査(書類審査)

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

②二次審査(公開プレゼンテーション)

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	<ul style="list-style-type: none">・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。・自主性をもった企画・運営となっているか。・地域活動支援の目的と合致しているか。
公益性	<ul style="list-style-type: none">・事業の成果が広く地域に還元されるものか。・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。・市の施策と方向性が合致しているか。・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
必要性	<ul style="list-style-type: none">・地域の実情や住民要望に対応したものか。・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。・ほかの方法で代替できないものであるか。・経費の使途が適切なものか。
実現性	<ul style="list-style-type: none">・目標(達成すべきこと)が明確なものか。・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。・資金調達の規模や時期に無理はないか。
発展性	<ul style="list-style-type: none">・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。

審査委員

氏名	所属・職
反田 博俊	奈良NPOセンター理事長
仲浦 美好	宇陀市食生活改善推進協議会会長
新 元秀	公募委員
竹内 和代	公募委員
東川 富成	奈良県くらし創造部青少年・社会活動推進課
前田 栄司	宇陀市役所 副市長

※審査委員会(平成31年4月7日)現在

補助事業の実施内容

伝統文化の能楽をプロの能楽師から手ほどきを受ける事で、子ども達の心を豊にする。また、能楽を通して正しい礼儀作法を身につける事ができる。
 「あきの蛍能」等で発表を通して郷土に愛着を持ち、日本の伝統行事に関心を持つ子どもを育てる。
 能楽を舞台上で演じる経験は、子どもの成長の特別な機会となり、成人しても伝統文化に関心を持ち続ける。「あきの蛍能」等の宇陀市の文化的事業を積極的に支えていく市民に成長し、幅広い教養を身につけ国際社会に通用する人間になることを期待する。
 ◎観世流能楽師による能楽の指導(月1~2回実施)
 ◎稽古の成果を「あきの蛍能」で発表する。
 ◎県内の子ども農学教室と交流をする。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

教室は、公募で集まった9名(大宇陀小学校7名、菟田野小学校2名)で、低学年の参加者がありほとんどが未経験者である。指導者には、観世流能楽師の浦田保親さん、息子の親良さん親子が指導していただき、お稽古がはじまった。
 能楽教室は、年12回(毎月2回)開催し、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため自宅練習となった。
 稽古の始めと終わりにはきちんと挨拶をするなど礼儀作法も身につけ、正座、扇子の扱い方などの基本も出来るようになった。
 「老松」など数曲の謡を大きな声で謡い、扇を持つての仕舞も元気に出来るようになってきたので、6月の「あきの蛍能」の発表を楽しみにしていたが、新型コロナウイルスも影響で上演が中止となった。
 しかし、伝統文化に触れ、その良さを知ることが出来た事も子どもたちの成長には大きく影響している。これからも楽しく稽古が出来る様に、新型コロナウイルス感染の防止対策を徹底し、来年以降も継続し、子どもたちやその親たちの若い世代にも伝統を引き継いでもらいたい。

事業実施団体

名 称	うだ子ども能楽教室
所在地	宇陀市大宇陀下片岡542番地
設立の経緯・目的	◎伝統文化の能楽をプロの能楽師から手ほどきを受けることにより、子どもたちの心を豊かにする。また、能楽を通じて正しい礼儀作法を身につけることが出来る。 ◎「あきの蛍能」等で発表を通じて郷土に愛着を持ち、日本の伝統文化に関心を持つ子どもに育てる。
主な活動内容	◎観世流能楽師による能楽の指導 月2回程度実施 ◎稽古の成果を「あきの蛍能」等で発表する。 ◎県内の子ども能楽教室と交流する。

芳野城を中核にした地域活性化事業 (芳野城夢プラン) **【新規】**

補助金額
480,000円

芳野城を守る会

補助事業の実施内容

芳野地域の貴重な史跡である芳野城を整備する事で、観光資源に活用できる。歴史や史跡を知る取組は、地域住民の連帯意識を高め、地域活性化させる事ができる。

- ◎芳野城に登る道の整備及び草刈り、道案内板の設置。
- ◎芳野の歴史を学ぶ学習会。
- ◎芳野ほたる祭り
- ◎芳野地域の史跡を巡るツアー等催しを行う。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

芳野城の案内看板や道標を整備したことにより、芳野城に関心を持つ人が多くなった。また、道を整備し芳野城跡に登ることが可能になって城跡に登る人が増えた。学習会やバスツアーを実施したり、道づくりの作業をみんなで行ったことで、郷土の歴史に関心が高まり、地域住民の連帯意識も高揚してきた。「芳野城を守る会」を立ち上げ、地域住民の関心は高まってきたが、まだまだ芳野城の認知度は低く、アピール不足を感じる。今後も整備しみんなが安全に登れる城にしていく必要性も感じた。

事業実施団体

名 称	芳野城を守る会
所在地	宇陀市菟田野下芳野1228-2
設立の経緯・目的	宇陀三将のイベント以降、芳野氏や芳野城のことを尋ねられることが多くなった。しかし、地域住民は、尋ねられても芳野氏や芳野城のことを知らないのが現状である。そこで芳野氏や芳野城を多くの人に知ってもらうために、芳野城を整備し、案内板を設置したいと考えた。そして、「芳野城を守る会」を立ち上げ、芳野地域の活性化につながることを切望した。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・芳野氏や芳野城に関する学習会の開催 ・芳野城の案内板の設置 ・芳野城への道の整備、草刈り ・芳野城頂上付近の整備 ・芳野地域の歴史や史跡を知る取組の実施

室生原山にぎわいの拠点づくり事業 【継続2年目】

補助金額
400,000円

三郎岳景観石仏群保存会

補助事業の実施内容

- (1) 三郎岳登山道正義事業
 - 2度の台風被害にあい倒木や道路の崩壊があった個所の再整備を行った。
 - 見晴台から石仏群方向の材木を切り倒し、見晴らし良くする。
 - トイレ囲いの設置。
- (2) 伊勢本街道接続整備事業
 - 集落から伊勢本街道へつなぐ道路の保存整備
- (3) 地位異形管の保全と文化遺産の保存・伝承事業
 - 三郎岳登山道から石仏群に至る道と周辺の整備を行い、地区景観の保全と文化遺産である石仏群の保存と伝承を行った。
 - 見晴台に休憩用の丸太椅子を1個設置。
- (4) 交流の拠点づくり事業
 - 事業実施にあたり住民同士で共通の話題ができ、井戸端会議に繋がる。また、高齢者の閉じこもり防止や安否確認、情報交換による安心して暮らせる地域づくりにつなげる。
 - 声掛け運動の継続
- (5) 地域外住民との交流を図り、三郎岳や石仏群を巡るイベントを田口地区まちづくり協議会と共催で「原山再発見伊勢本街道歩行ツアー」を開催した。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- (1) 登山道を整備し、更にトイレを設置したことで伊勢本街道のつながりが榛原地域と同様に整備ができ、安全性の向上と利便が良好となり、ハイカーの増加につながる。
- (2) 三郎岳の景観や石仏群、伊勢本街道は地域住民が残していきたい大切な文化遺産。この事業を進めることは、高齢者の生きがいがいづくりに繋がる。また、若い世代に郷土の誇りを伝承することが出来る。
- (3) 見晴台の整備により、田口地区はもちろんのこと、青山高原等の素晴らしい山並みが見通せるようになった。
- (4) 住民のハイカーへの声掛け運動など地元高齢者とハイカーとの交流の中から、空き家の利活用も期待できる。
- (5) 田口地区まちづくり協議会との協力関係が築けた。

事業実施団体

名称	三郎岳景観石仏群保存会
所在地	宇陀市室生下田口752番地
設立の経緯・目的	平成30年2月に設立。地域の景観保全や文化遺産の保存・伝承、住民の交流、空き家対策などをおして、地域の活性化へ繋げることを目的にしている。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域活性化会議の開催 2. 地域環境の保全と文化遺産の保存・伝承 3. 交流の拠点づくり 4. 空き家対策 5. 住民への声かけ運動 6. 伊勢本街道を通るハイカーの道案内など

空き家改修の民家を利用した市民による市民の 為の市民文化講座 【継続2年目】

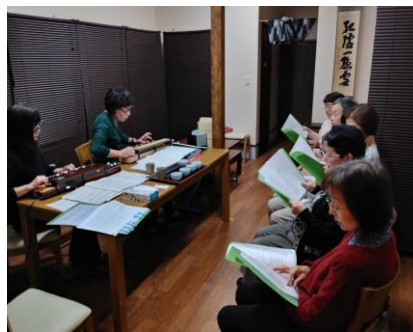
補助金額
400,000円

にっこり会

補助事業の実施内容

松山重伝建地区の住民が、自分たちに必要な市民講座を企画し参加する。自分たちで講師もつとめ様々な講習会や講演会を実施していくことで、引きこもりがちな老人のいない町にする。
 ○宇陀松山重伝建地区の住民が、本当に必要としている市民講座の内容について市民で検討する。
 ○市民の担当者が、市民講座の開催時期・会場・参加費・講師の計画など主体的に立てる。
 ○住民のニーズに応じた様々な市民講座を実施する。
 ○振り返りを行い、次年度の計画を立てる。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

茶道教室を中心に開催するような形になったが、指導者のお人柄から大変多くの参加者があり、そのリクエストに応えた結果である。開催に偏りがあったが、参加者には広がりがあり、参加した人が近所の方とお抹茶を立てたり、自分でお店を出店したりと、様々な発展へとつながる市民講座となった。

講師の先生が他の教室にも参加することも増えて、ヒューマンネットワークの強靱化も進む講座へとつながった。

今後は、更にメンバーのすそ野を広げることに力を入れつつ、また、お点前ができる生徒が増えてきているので、発表する場も設け、子どもたちの参加で多世代交流の場づくりも進めていくこともできた。今後は各教室にも男性の参加者が増やすことが課題となっている。

名称	にっこり会
所在地	宇陀市大宇陀下本2175番地
設立の経緯・目的	宇陀松山初えびすを下本自治会が、永年続けてきたが、高齢化と過疎の為存続不可能となり、商工会青年部に委託したが、その青年部も後継者不足から継続が困難となってきた。商工会青年部を支援する団体として有志が集まって「にっこり会」を発足した。宇陀松山重伝地区の町並み保全を含む活動となり今日では、活き活きとしたまちづくりを目的として活動している。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宇陀松山初えびすの実行委員会に加わって、中心的な活動。 2. 町並み保全につながる市民講座の開催 3. 宇陀松山住民の意識調査の実施 4. 奈良県文化財課との連携事業 5. 早稲田大学社会科学部卯月盛夫研究室との連携事業 6. 住民の親切とおもてなしの心を育てる葉ボタンの栽培と配布 7. UDA寺子屋さんとのアクティブラーニングの連携事業 8. 多世代交流の場づくりの推進 9. 空き家コンシェルジュ 10. はならあと実行委員会との連携事業 11. ライトアップ事業との連携事業 12. 大宇陀夏まつり実行委員会との連携事業

補助事業の実施内容

文武天皇の大宝元年(701年)刀匠天国が稲津社境内霊水により刀剣を鍛ふ(社記)と有り、この時「小鳥丸」を創る。
 宇陀市は、まさに日本刀発祥の地であり、オンラインゲーム「刀剣乱舞」に皇室の御物「小鳥丸」が登場します。
 日本刀の祖「天国」の郷を訪ねて！のツアーを開催する。
 宇陀市役所出発 → 菟田野稲戸「天国の井戸」 → 国宝「宇太水分神社」 → 東吉野村「国平刀剣場」で小鳥丸の展示、刀剣制作見学 → 宇陀市役所解散
 2班に分け、ボランティアガイドの説明付きで各所を見学する。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

令和元年7月20日(土)晴天
 バス3台貸し切りで、【日本刀の祖「天国」の郷を訪ねて】と題し、菟田野地域と東吉野村を巡りました。当日の参加者は100名を超えての開催となった。
 菟田野稲戸は、崇神六年と文武元年に神鏡・神刀を打ったと宇陀郡誌に有り、天国は稲戸の住人で日本刀の原型「小鳥丸」を造りました。天国の井戸、屋敷跡を見学して宇太水分神社で参拝し昼食をとりました。その後、東吉野村の「国平刀剣場」を見学。河内氏作名刀「小鳥丸」を見せていただき、刀剣ができるまでの工程の説明等聞き、初めて見る工具等に興味深々でした。また、初めて拝見する参加者は、鍛錬の様子緊張感と飛び散る火花に歓声を上げ、「カーン」という甲高いのに驚きと神秘的な空間に感動していました。
 アンケートでは、60代70代の参加者が多く、市外からの参加者も多く宇陀市の魅力を発信することが出来たと思う。また、宇陀市の住みながら遺跡等で知らないことも多く今後、宇陀市内での開催されつつウォーキング等に参加したくなったとの回答もありました。

事業実施団体

名 称	宇陀市の神話と歴史を考える会
所在地	宇陀市菟田野佐倉408番地
設立の経緯・目的	宇陀市に伝わる記紀万葉発祥地から、神武天皇や市を代表する宇太水分神社、阿紀神社、墨坂神社、室生寺など多くの神社仏閣が建立されており、数々の民話や伝説が残っている。こうした歴史的文化的文化を探求することで宇陀市のまちづくりに寄与する事を目的とする。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宇陀の歴史探訪を行い、歴史文化についての研究を行う。 2. 三重県大紀町錦と広域交流事業に互いに協力し合い、研鑽に励む。 3. 平成29年10月14日「戦国の群像 宇陀三将サミット」を開催する。 4. 芳野城を守り会、六孫王の五輪塔を守る会も発足

ハ一魂心会による室生活活性化計画！室生寺もみじ祭り
に於ける『お客様に対するおもてなし』【継続2年目】

補助金額
400,000円

ハ一魂心会
(べんいちこんしんかい)

補助事業の実施内容

賑わいをつくり、お客様に楽しい気持ちになって頂き、室生寺門前町の活性化を図る。また、インスタ映えするスポットを作る。

- 駐車場から室生寺太鼓橋までの道中に提灯灯を連ねる。
- もみじ公園のもみじに電飾を施しライトアップを行い、同時に歓迎とお礼の看板を設置する。
- 室生トンネル横の滝をライトアップし、同時に歓迎とお礼の看板を設置する。
- 龍穴神社、韋駄天尊横の大杉をライトアップし、同時に室生寺への方向案内看板を設置する。
- 室生寺内に暖を取れる小休憩スペースを確保し、温かい飲食物屋台を出店する。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

【提灯の効果】

龍のイラストの提灯を太鼓橋前に設置し、趣が増した。また、川沿いの提灯も増やすことで川面に映る提灯の光が映え、通行する人の安全面も向上した。

【ライトアップの効果】

幻想的な各所のライトアップは、お客様の高揚感を高め反響も良く、写真スポットとしても撮影される方も多くいた。

事業実施団体

名 称	ハ一魂心会(べんいちこんしんかい)
所在地	宇陀市室生78番地
設立の経緯・目的	室生のこれからの世代の者や、室生寺の若手僧侶で設立。 室生地域の発展や活性化、室生寺の賑わいを少しでも取り戻したく設立。
主な活動内容	コンサルタントを踏まえた会議 室生寺前バス停を建築(予定)

～町おこしは人おこし～魅力発見♪
うたの手づくりフェスタ♪ 【継続3年目】

補助金額
300,000円

うたの夢街道実行委員会

補助事業の実施内容

10月27日奈良カエデの郷ひららにて実施
「健康なからだを作ろう」「手づくりしよう」を軸に、宇陀市内や菟田野地域で活躍する人や物に触れて、人や地域を知り、体験を通じて交流を深める事業を開催。
体験内容は、「ウエルネス体操」「木工教室」「毛皮小物づくり」など地元で活躍する方の得意分野を体験するコーナーを設置。ハーバリウムやアクセサリ作りなど普段できない体験も行った。
小さい子どもも楽しめる榛生昇陽高校の生徒による紙芝居、吉野私設図書館の木の子文庫、ゲログロおじさんのお絵かきコーナー、などみんながくつろげる空間づくりも設置。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

来場者や参加された地元の方々には『手づくりフェスタ』の主旨である「健康なからだを作ろう」・「手づくりしよう」を共に楽しみ、色づくカエデの中で大人も子どもも笑顔いっぱいの日となりました。
今回も、高校生の人形劇や絵本コーナー、折り紙作りコーナーなど小さなお子さん連れのお母さんもゆっくり楽しめる空間作りを行った。
手づくり体験コーナーは、ハーバリウム作り、ミニ石鹸作り、木製や革製品にオリジナルイラストを描く体験等が人気でした。
昨年同様、地元団体のご協力により慣れた感じで設営準備や片付けは地域住民の一体感をひしひしと感じた。短時間でも会場に来てくれた方や宇太小学校卒業生も多く、同窓を懐かしむ様子がコミュニティ再生の基盤になれることを期待している。また、広報等も広域に配布し宇陀市外からの来場者も多く、家族連れが多くみられた。菟田野地域の魅力を感じてもらえたと思う。

事業実施団体

名 称	うたの夢街道実行委員会
所在地	宇陀市菟田野古市場271番地
設立の経緯・目的	2009年(H21年)菟田野地域の活性化と魅力あるまちづくりを目的とし、「うたの夢街道」の企画・運営及びそれに追随する事業を実施するため設立。菟田野地域の魅力を内外に発信し、観光交流や地元市民の交流の場づくりを行う。
主な活動内容	1. 2009年(H21)より春に「うたの夢街道」を実施。 2. 宇太水分神社を中心に古市場街道筋の賑わい作り、観光PRを行っている。 3. 2012年(H24)、奈良県まちづくりコンシェルジュと「古市場」まちづくりマップの協働作成。 4. 2015年(H27)、宇陀市市政10周年事業「新能」を開催。地域に根付き、地域の人々と共に人々が集い、世代間の交流ができる場づくりを行っている。 5. 2017年(H28)、「ひと」「こと」「もの」に焦点を当てた体験型フェスタを開催。

宇陀スカイランタンプロジェクト

補助事業の実施内容

6月23日(日)実施

宇陀市を盛り上げよう！地域に貢献しよう！という趣旨から、世界中で話題になっている『スカイランタン』を使い宇陀市の新たな町おこしを行う。若者達が宇陀市の未来に可能性を感じ、自分達の自由な発想で地域を変え、活性化させて地域を作ることが出来ることを知ってもらい、移住を食い止め宇陀市の明るい未来に繋げる。

- オープニングセレモニーファンファーレ
- 奈良うまいもんマルシェ
- ステージでのトークショー
- 榛原太鼓台担ぎ出し
- 宇陀スカイランタンフェスティバル

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

オープニングから事業終了まで多方面から約5200名が来場。フィナーレのスカイランタンでは、年齢を問わず多くの方の笑顔と歓声に会場は包まれた。様々な団体が協力し合い、より強いまちづくりのネットワークが構築され、それが市民に伝播されたことで今後の地域活性の一助になった。

- オープニングセレモニーファンファーレ(しらゆり保育園鼓笛隊による)
- 奈良うまいもんマルシェ 県内の食材を使用した飲食ブースを開催
- ステージでのトークショー 県内よりプロの世界で活躍し挑戦を続ける選手の方々に、その熱い想いをや情熱を後援してもらい、プロの技術を披露する。
- 榛原太鼓台担ぎ出し 地域の伝統文化である太鼓台担ぎ出しを会場で披露する。
- 宇陀スカイランタンフェスティバル 来場者にそれぞれの願いや目標を掲げたLEDスカイランタンを澄み切った夜空にリリースし、幻想的な景色を味わう。

事業実施団体

名称	宇陀スカイランタンプロジェクト
所在地	宇陀市榛原自明1358番地
設立の経緯・目的	宇陀スカイランタンプロジェクトの運營業務を円滑に行い、地域活性化のための活動を行う事を目的とする。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大空に舞うスカイランタンを使ったイベント(LED) 2. 地産の食材、商品を使ったブースの出店 3. 音楽・映像などのイベント 4. 人気キャラクターショー 5. 子どもフリーマーケット 6. その他宇陀市に貢献できうるイベントなど予定